

通学路の合同点検に関するアンケート調査 取りまとめ結果

第1 調査の概要

平成25年5月31日に文部科学省、国土交通省、警察庁より各地方に通知した「通学路の交通安全の確保に向けた今後の取組」において示した、合同点検の実施や協力体制の構築について、8月31日時点の進捗状況を、全国の市町村教育委員会に調査を行った。

第2 調査対象

公立小学校及び特別支援学校小学部（21,308校）

第3 調査結果

1 平成25年度中（8月31日まで）の通学路の合同点検について

実施済み	9,849校
未実施	11,459校

1-1 実施済みの合同点検の内容

全ての通学路を点検 (新たに設定されたものを含む)	7,769校
昨年の緊急合同点検で判明した対策必要箇所のみ点検	1,243校
昨年の緊急合同点検以降に状況が変化した通学路についてのみ点検	837校

1-2 合同点検を実施した際の枠組み

緊急合同点検と同一	5,625校
既存の枠組みを活用	3,447校
その他の枠組み	777校

1-3 合同点検未実施の学校の今後の予定

今年度中に実施予定	1,777校
検討中	2,321校
今年度中に実施する予定なし	7,361校

※ 今年度中に合同点検を実施しない主な理由

- 昨年に実施した緊急合同点検で、通学路の危険箇所は全て点検・把握済みであるため。
- 新たに設定された通学路についても、学校、教育委員会、保護者等で安全点検を実施したが、危険箇所の発見に至らなかったため。
- 市町村において、隔年で合同点検をするという取組方針がすでに固まっているため。

2 定期的な合同点検に関する計画の策定状況

作成済み	293市町村
作成予定	479市町村
作成しない	973市町村

3 通学路の安全確保のための関係者の推進体制の構築状況

平成24年度末までに構築済み	609市町村
平成25年度に構築	135市町村
構築時期未定	1,001市町村

3-1 市町村の推進体制の構成状況（※ 複数回答）

学校関係者（先生、教育委員会等）	100%
道路管理者	96%
警察	94%
保護者	47%
保護者以外の近隣住民	29%
その他（学識経験者、アドバイザー等）	25%

4 学校ごとにおける推進体制の構築状況

平成24年度末までに構築済み	10,085校
平成25年度中に構築	1,131校
構築時期未定	10,092校